



地域とともに



一つの目標

夕陽会函館市支部 支部長 碇 幸信

(昭和四十九年卒)

昨年の四月に函館市支部長の重い任を受け、一年半が過ぎようとしている。それまでは、日高に新採用教諭として赴任して以来、一会员として年会費を納め、所属していた支部の総会や懇親会に、どちらかと言えば眞面目に参加していた記憶が残っている程度である。正直に言えば、本部や各支部の動向や同窓会・母校が抱えている課題等に触れる機会が無かつたのが現実である。立場とは怖いもので、副支部長として支部長を務めてから三年半は、過去とは様変わりの同窓会とのかかわりであった。支部会員の慶弔関係は日々の出来事、本部の方針や母校の様子には当然の如く関心は高まり、本部会報も隅々まで目を通すようになつた。ましてや、夕陽会本部のお膝元支部として、責任の大きさも痛感しているところである。才無く、力量も欠く支部長であるが、任期中の目標が二つある。

その一つは、『地域貢献』である。上の写真は、函館奉行所開設に当たり、夕陽会函館市支部から車椅子を寄贈し、その福祉的活動に対する感謝状をいただいた時のものである。母校は、函館の地に生まれ、函館の地で育てられた。その地に同窓会として何らかの貢献することは、地域とのかかわりを深める意味でも大切なことである。貢献は、物品にかかわらず、ボランティア的な活動を含め、今後、更なる工夫を加え継続してもらいたい。ちなみに、表彰状は夕陽記念館に置かせていただいた。

地域貢献・組織拡大は、本部の方針にも掲げられている。これらの取り組みに際し、本部役員や支部顧問の方々から貴重なご助言・ご支援をいただいた。橋田会長には最終段階で数多くのお知恵を拝借するなどご苦労をお掛けしている。さらに、本部の土谷幹事長や橋山庶務部長には、度重なる相談にもかかわらず快く対応していただき、本部と函館市支部の絆が一層深まった感を強めている。

支部長としての任期も残りわずかとなつたが、時代の変化に対応できる組織創りに全力を尽くすことで、支えてください。さつた方々へ、心よりの謝意を表したい。



函館市立
錢龜沢中學校長
安達 克佳
(昭和五十五年卒)

原点を忘れずに

中野遺跡、石倉遺跡、志海苔遺跡と繩文時代から近世に至る重要な文化財を校区にもつ本校は歴史と伝統が息づく学校である。第一、第二、第三錢亀沢中学校が統合してから今年で五十六年目を迎えた。汐泊川が近くに流れ、数多い野鳥がさえずる自然に恵まれた学校である。現在各学年二学級、計六学級であるが、少子化のため来年から一学級ずつ減となる。しかしながら、東小学校と石崎小学校の二校から素直で明るい児童が入学していく。

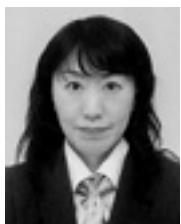
函館市立
石崎小學校長

(昭和五十二年卒)

私が校長として大切にしているのは、学校は一つの大きな家族だということ、職員は一つのチームだということである。家族であればこそ、それぞれの成長のために時に厳しく、時に温かく支え合うことができると信じている。「不登校生徒ゼロ」の学校を目指し夕陽精神を忘れず活力あふれる学校創りに邁進する。

くる③体をつくるの三つである。単純明快で誰にでもわかりやすい。特色ある教育活動として輝くのは校区内 小学校二校と町内会、そして、銭亀沢子ども連合会と連携した「クリーン作戦」がある。本校の生徒が毎年企画し、小学校の児童や地域の方々に方法を説明し、リーダーシップを發揮する機会となっている。本校生徒は内気な性格の子どもが多く、この活動を通して異年齢、そして未知の方々と交流し共に活動することで大きく成長している。

新たな気持ちで



函館市立
亀尾中学校教頭
佐藤 美加
(昭和元年卒)

亀尾の教育のために

本年四月、函館市立亀尾中学校に教頭として赴任いたしました。子どもたち、教職員、保護者や地域の方々に支えられながら、日々仕事に取り組んでおります。本校は、平成二十四年に開校一二〇周年を迎える、小中併置校です。運動会、学校祭など、小中が一緒に行う行事も多くの、中学生が下級生をリードする姿、小学生のひたむきな姿が互いに好影響を与えていたる光景を何度も目にしました。子ども一人一人の顔が見えるのもいいところです。先生方も子どもたちに細やかな



函館市立
大船小学校教頭

(昭和六十年秋)

現状としては、小学校新一年生三名の確保が課題です。いろいろと工夫してPRすることも本校の教頭としての大切な仕事の一つです。もちろん、子どもたちがより生き生きと活動し、充実した生活ができるこそ、PRが意味をなします。

本校の教育活動のひとつそとの充実のために、小学校の教頭と連携しながら、日々努力していく所存です。

今後とも、夕陽会の皆様のご指導とご支援をよろしくお願ひいたします。

配慮で対応しています。さらに、小学校の習字の授業も担当しているおかげで、発達段階と系統に配慮した学習について考えをめぐらせる良い機会にもなつております。

私は「夕陽」という糸で成長させていただきました。この経験を基に微力ではありますが、心豊かに学び、共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむために拓北の熱き想いを胸に頑張ります。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

うになりました。
今年四月、開校百三十年を迎える大船
小学校に着任いたしました。児童数五十
一名の小さな学校です。蒼い空と蒼い海
に囲まれた、函館市の北東部に位置する
自然に恵まれた学校です。

家族の一員として、ともに働く子ども、
子どものために朝五時から運動会の準備
をするP.T.A.。子どものために日々創意
工夫し、教育活動に取り組む教職員。そ

地域とともに

「夕陽」という名の紹

長を見守り、大きな期待を込め応援してくれる地域。そんな地域に支えられ、着任して五ヶ月が過ぎ、地域とともに歩む一校を預かる校長として、その責任の重

面白にやつてるか。」と先輩に声をかけていただいたり、仲間と楽しく語り合うにつけて、「夕陽」の紳を強く意識するようになりました。

大学を卒業し旅行会社に就職し、営業マンとして、添乗員として二つの顔で奮闘する日々を過ごし、早いもので四年の月日が過ぎました。

改めて、自分の仕事を見つめなおすと、旅行という形の無い商品は多くの人々によつて支えられていることを実感します。ホテルのスタッフ、バスの乗務員さん、見学先を支える人々…、直接、接する人、裏で支える人を数えればきりがありません。そして何より旅行されるお客様。これら全てがそろつて初めて旅行ができます。我々はお客様が楽しく円滑な旅行ができるよう手配・打ち合わせ・添乗と、お客様と受け入れ側との間に立ち日々仕事をしております。

旅行の良し悪しは、見学先・天気・旅行先での人との出会いで大きく変わつてきます。また添乗員とお客様との出会いもその一つであると思います。できるだけの笑顔でお客様と接し（まだまだ、表情が硬いと先輩方から叱られますが…）よい旅行だつたと笑顔でお客様から言つていただけるよう心がけております。

私は現在、修学旅行を中心に営業活動しております。営業マンとして、添乗員として諸先輩のご旅行のお手伝いをさせていただける機会を是非いただきたいと思つております。そして皆様方との出会いに感謝しこれからも仕事に励み先輩方、そしていづれは後輩の皆様と笑顔で仕事ができるよう日々精進してゆきたいと思ひます。



株日本旅行北海道
函館支店

も多く、失敗や失敗による焦燥感に追われる毎日。自分に勤まるのかという不安が募つていきました。しかし、優しく頼りになる同窓の先輩方に様々な教えや助言を受けながら、最近やつと自分で果たすべき仕事の流れをつかみつつあります。

現在主な職務として、函館の文化・スポーツ情報を伝える「財団ニユース・スティックアップ」の編集・発行作業に携わっています。市民の皆様に函館の情報を紹介するという仕事に、とてもやりがいを感じています。文化や芸術、スポーツ、日本の伝統文化や函館という街の素晴らしさをより多くの皆様に伝えていくとともに、自ら進んで新しい流れを察知し、取り入れ、発信できる人間を目指し、日々精進していくことを考えております。



(財)函館市文化・スポーツ
振興財団広報課主事

が今私の必要を感じています。それが初めて初めて学級が目指す目標実現への第一歩を踏み出せるのだと感じています。

他には教科指導や部活動指導にも全力で取り組んでいきたいです。特に、教科指導では数学のおもしろさ・楽しさをたくさん伝えたいという気持ちを常に忘れず、教材研究をしつかり行つた上で授業を展開していきたいです。

まだ三ヶ月しか一緒に過ごしていませんが、その中でも子どもたちが少しずつ成長していくのを実感します。そしてその成長に喜びを感じ見守つていくと同時に、自分自身も彼らとともに成長していきたいと思います。



函館市立
桔梗中学校

自分の力不足を痛感し、悔しい思いを幾度もしました。自己解決できず、思い悩むこともありました。

そんな時、助けてくださったのが職場の先生方や指導教官の鈴木恵子先生です。たくさんのお手言やアイディアをいただき、指導の改善に生かすことができました。時には、子どものちよつとした言葉や気付きから、よい流れの授業を開拓できました。

今後も常に学ぶ姿勢を忘れずに、たくさんの方々から多くのことを勉強させていただき、教師としての力をつけていきたいと思います。また、私の小さな先生、「子どもたち」からもヒントをもらい、日々成長していくよう努力していきたく思います。



函館市立
北美原小学校

大学を卒業し旅行会社に就職し、営業マンとして、添乗員として二つの顔で奮闘する日々を過ごし、早いもので四年の月日が過ぎました。

改めて、自分の仕事を見つめなおすと、旅行という形の無い商品は多くの人々によって支えられていることを実感します。ホテルのスタッフ、バスの乗務員さん、見学先を支える人々…、直接、接する人、裏で支える人を数えればきりがありません。そして何より旅行されるお客様。これら全てがそろつて初めて旅行ができます。我々はお客様が楽しく円滑な旅行ができるよう手配・打ち合わせ・添乗と、お客様と受け入れ側との間に立



(財)函館市文化・スポーツ
振興財団広報課主事

今年度より、夢であつた教員生活の第一歩を踏み出すことになりました。赴任先は函館市立桔梗中学校で現在は一年生の担任、そして数学を担当しています。私の一学期は、初めてもつ学級を一体どのように経営していくべきのかといふ不安な気持ちで満ちたスタートとなりましたが、周りの先生方が行う学級経営や生徒指導を手本にしつつ、実際に自分が思い描く学級像と照らし合わせながら進むことで、なんとか一学期を終えることができました。

もちろん今の学級経営に満足してはおりません。次に向けて、思い描いた理想のみで終わるのではなく、現状を把握し進むことで、なんとか一学期を終えることができました。



函館市立
桔梗中学校

平成二十一年三月、北海道教育大学函館校を卒業し、算数T・Tとして一年間の期限付き教諭を経て、四月一日より函館市立北美原小学校に赴任しました。現在、私は三百人以上の四・五・六年生を対象に、音楽専科を担当しています。それぞれの学級の子どもたちが、かわるがわる音楽室にきて、指導に奮闘する毎日を送っています。

一学期は、指導がうまくいかず、試行錯誤の連続でした。前もつて目標達成のための手立てを練り、授業に挑みました。が、予期せぬつまずきがありました。また、高学年の歌唱指導では、意欲を十分に引き出せないこともあります。課題となつ



函館市立
北美原小学校

新会員になつて

新たな流れの中で

教員になつて

学ぶ姿勢を忘れずに

五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。

二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。

一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

母校開学の精神「土地墾闢・人民蓄殖」の精神を確かに、支部会員の資質向上と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。

あわせて夕陽会の充実発展に寄与する。

平成22年度 支部運営方針

○役員 一、支部役員 二、支部役員・業務内容

中学校長会長	副幹事長	幹事長	監査	副支部長	役職	氏名	卒業年次	○顧問
						新濱美喜子	宮越忍	片桐聰
中村昌照	佐竹由博	木村雅彦	木村昌史	木村昌史	木村昌史	木村昌史	57年卒	木村昌史
57年卒	54年卒	58年卒	57年卒	59年卒	49年卒	53年卒	59年卒	53年卒
函館市立高盛小学校	函館市立赤川中学校	函館市立北夷原小学校	函館市立桔梗中学校	函館市立神社宮司	函館市立龟田小学校	函館市立龟田小学校	函館市立龟田小学校	函館市立龟田小学校
函館市立亀田小学校	函館市立赤川中学校	函館市立北夷原小学校	函館市立桔梗中学校	函館市立神社宮司	函館市立龟田小学校	函館市立龟田小学校	函館市立龟田小学校	函館市立龟田小学校
所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属

平成21年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	21年度予算額	21年度決算額	増減(△)	摘要
会費	現職会員	810,000	815,000	5,000 815名×1,000円
年会費	37,000	33,000	△ 4,000	年次会員
緑越金	225,809	225,809	0	
緑入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	20,000	275	△ 19,725	利子
合計	1,192,809	1,174,084	△ 18,725	

2. 支出の部

項目	21年度予算額	21年度決算額	増減(△)	摘要
事務費	200,000	125,017	△ 74,983	封筒、コピー、用紙、プリンタインク等
事業費	450,000	446,750	△ 3,250	会報、会報発送代、広告代等
会議費	200,000	214,580	14,580	総会会場費、幹事・新会員懇親会等
慶弔費	250,000	165,000	△ 85,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典等
振込手数料	60,000	62,300	2,300	各種会費等振込手数料
雜費	12,809	0	△ 12,809	
予備費	20,000	0	△ 20,000	
合計	1,192,809	1,013,647	△ 179,162	

〈収支決算〉

収入	1,174,084
支出	1,013,647
残高	160,437

平成22年度 予算案

1. 収入の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
会費	現職会員	815,000	790,000	△ 25,000 790名×1,000円
年会費	33,000	34,000	1,000	年次会員
緑越金	225,809	160,437	△ 65,372	
緑入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	275	163	△ 112	利子
合計	1,174,084	1,084,600	△ 89,484	

2. 支出の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
事務費	125,017	160,000	34,983	コピー代、用紙、封筒代等
事業費	446,750	440,000	△ 6,750	会報、広告代
会議費	214,580	200,000	△ 14,580	幹事会等
慶弔費	165,000	200,000	35,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典等
振込手数料	62,300	55,000	△ 7,300	各種会費等振込手数料
雜費	0	9,600	9,600	
予備費	0	20,000	20,000	
合計	1,013,647	1,084,600	70,953	

3. 前納会計

	残高
普通預金 1	2,150,704
普通預金 2	464,670
合計	2,615,374

新採用会員																		
各学校幹事		卒年																
学校名		会員数																
湯川	北日吉が丘	日吉	深堀	駒場	金堀	柏野	千代田	中島	高島	港岱	万橋	八幡	北星	中部	青柳	弥生	さひ	
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	盛岱	年橋	橋	星橋	部	柳	生	ひ	
池	溝	館	中	下	吉	酒	瀧	行	佐々	吉	島	土	酒	小	明	工	寺	
野	口	下	村	尾	田	谷	谷	友	木	田	村	野	井	林	尾	藤	澤	
教	礼	直	誠	里	実	明	佳	眞	好	優	昭	雅	光	朋	はる	敏	春	
史	恵	史	司	実	代	子	世	子	理	子	美	子	広	人	史	み	典	佳
12	15	18	13	11	12	16	9	9	5	10	16	4	13	6	7	11	11	9
教育大学函館校		桔梗	赤梗	五稜	凌雲	榦華	南法	北大通	本華	南北原	中通	本小	南北原	中通	の澤	堀小	高盛	
各学校幹事		木村	藤井	小片	雨桐	宮谷	高本	北本	佐谷	吉村	藤本	野桐	野谷	村本	佐藤	吉田	新採用会員	
会員数		H12	H21	H11	H22	H22	H17院	H8	H21	H22	H14	H20						

13 12 13 6 4 5 9 10 6 10 5 7 7 6 5 4 4 4 9 14 17 15 20 19 13 8 16 19 14 15 19 2 7 14 8 12

会計部		広報部		庶務部		総務部		分掌	支部事務局体制(亀田小学校)																																				
会員	会員		函館市教育委員	教	育	附	属	附	属	は	こ	だ	て	幼	白	尻	尾	札	樅	楓	惠	日	潮	北	本	桐	通	花	田	梗	桔	龟	鰐	赤	錢	龟	鱈	旭	岡						
○ 尾山	○ 宮越	○ 横田	○ 佐藤	○ 澤田	○ 築田	○ 小林	○ 田上	○ 宮越	小	松	田	伊	可	戸	小	濱	相	冬	野	本	本	山	松	葛	喜	浦	千	坂	増	高	福														
史華	忍・奥田	史華	忍・奥田	裕子	玲子	史子・岡野	悟	忍・中村	濱	浦	中	多	波	児	澤	柳	出	澤	野	坂	間	谷	家	本	西	多	田	歳	本	川	谷	留													
・	・	・	・	・	・	・	・	・	俊	幸	直	裕	未	和	光	恒	正	恵	佑	啓	秀	佳	秀	貴	智	志	・	・	・	・	・	・													
○ 部長	○ 祥子	○ 綾都	○ 川股	己育	美智子	芳恵	洋子	昌照	誠	彦	樹	涉	之	来	隆	毅	史	己	子	聰	太	資	猛	幸	佑	航	博	史	織	・	・	・	・	・	・										
									9	9	13	14	3	1	6	6	7	7	5	5	14	21	8	19	12	15	9	7	8	7	15														

夕陽会函館市支部規約

平成22年9月30日(6)

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と略称する。(夕陽会函館市支部と略称する。)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ることと共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

一、総会

二、懇親会

三、会員の慶弔に関すること

四、支部会報の発行

五、教育研究諸会合

六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもつて会員とする。

一、北海道函館師範学校卒業生

二、北海道第二師範学校卒業生

三、北海道学芸大学函館分校卒業生

四、北海道教育大学函館分校卒業生及び修了生

五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生

六、母校に在学した者（講習科、養成所も含む）

第六条 この会の役員は次のように定める。

一、役員

(一) 支部長 一名

(二) 副支部長 二名

(三) 幹事長 一名

(四) 副幹事長 若干名

(五) 幹事 若干名

第78号

事務局だより

三名

一、総会

(一) 定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。

(二) 臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

二、幹事会

必要に応じて支部長が招集し、この会の基本的な事項について協議し遂行する。

三、その他、必要とするもの。

一、会費

(一) 通常会費は、年額一、〇〇〇円とする。

(二) 前納会費は、別途規定を設ける。

(三) 寄附金

(四) 事業による収益金

(五) その他

(一) 会員の支出は、次の通りとする。

(二) 会議その他事業費一般

(三) 懇親会その他会合費

(四) 慶弔費

(一) 会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

(二) 会員の受賞、栄進等は祝電

(三) 会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

(四) その他必要なものは、支部長の残任期間とする。

(四) 再任は妨げない。

第七条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

一、顧問は、この会の重要な事項に関し支部長の諮詢に応じる。

二、顧問は、支部長が委嘱する。

第八条 この会の会議は、次のように定める。

付則 平成五年四月十七日 改正

平成九年四月十九日 改正

平成十三年四月二十一日改正
平成十八年四月十五日 改正

夕陽会函館市支部 事務局

〒041-0811 函館市富岡町一丁目一八番一号

函館市立亀田小学校内
電話番号(〇一三八)四一一三三七〇
FAX番号(〇一三八)四一一三三七八